

# 新たな挑戦もさわやかに克服!

## 中級コース(少年指導者講習会) 終了=47人に修了証

市協会主催の少年指導者講習会は今年度より初級コース、審判コース、中級コースの3本立てとなり、4〜5月の初級、6〜7月の審判両コースに引き続いて、中級コースがこのたび実施された。

中級コースは、9月10日の開講式から10月31日の閉講式まで、ナイター設備の使用可能な9月中は実技を中心に、10月に入ってからは講義を中心に、磯上グラウンド及び市立スポーツ会館で実施された。

今回のメインテーマは「いろいろなことに挑戦しよう」で、講習会の内容も新趣向に「挑戦」したものが多かった。実技では、1. バランス、2. チャンスの攻め方、3. ピンチの守り方、4. ゲームの構成、5. シュートの守り方について、中級コースにふさわし

くレベルの高い実技練習もとり入れられた。とくに、体力、精神面での「挑戦」として、12分間走が実技の中にとり入れられ、ほとんどの受講生が、水準以上の距離を走り切ったことは、特筆に値する。

講義の方では、前半に大貫哲義著「わが子の心が見えますか」を参考にしながら、少年のサッカー指導における実践的問題点について、後半には、救急法、審判法、コーチング法について行われ、今までにない密度の濃い内容を消化した。

さらに、9月25日の神戸中央球場の日本リーグ、ヤンマー対読売クラブ観戦もコースの一環としてとり入れられ、質、量ともに充実した講習会であった。

最終日にはポートアイランド球場におい

て、指導者B(ベテラン)チーム対神戸F.CジュニアC(中1)チーム、指導者A(若手)チーム対アーセナルF.C(市社人1部リーグ)の2試合が行われ、いずれもなかなかの好試合であった。この後、磯上スポーツ会館に場所を移して閉講式が行われ、修了者に修了証が手渡された。受講申込者53名のうち、次の47名が中級コース修了となった。

【中級コース修了者(敬称略)】  
岡部勇、佐伯充史、新開英幸、島野賢三、杉本富哉、瀬尾奨、辻喜美、手嶋淳、富田正和、永井克典、中城慶輔、中瀧世志人、中村敬次郎、中村憲司、中村誠一、中津武良、橋本重臣、原田健吉、富士信男、藤本引幸、松本義夫、松本良次、水野正行、三沢玲爾、三好賢史、村上康司、村田文和、森芳樹、森修、門野征洋、留田正彦、森和久、岡本常司、田中公一、池田悟、林幸男、森川和俊、窪国忠、白木原靖生、熊岡光悦、村上恒男、岡部国雄、谷口弘市、澤田輝夫、山内誠、河田弘

## 日本サッカーにルネサンスは起こるか? (3)

枚方FC 近江 達

日本の指導陣が伝統的に強調してきたように、スポーツでは精神活動がこの上なく重要である。となると、片やストレート、片や屈折、という明らかな差異と長年の滞積が彼らのスポーツに影響しないはずがない。現在の日本スポーツ沈滞にもきつと関係していると思う。おそらく、それは技術差、体力差とか、精神といえればそれしかないように思いこまれている根性やファイトなどの問題よりも、もっと核心的なところでネックになっているのではなかろうか。

さらに、民族や集団の特性となると、到底一朝一夕に変えられるものではない。だがこのまま放置しておいてはなるまい。ましてそれを人為的にいっそうスポイルし、ゆがめているものがあるとすれば、一日も早く排除改良されてしかるべきであろう。

「サッカーって面白いものなのですね」

1979年のワールド・ユース日本大会はすばらしい企画だった。試合だけでなく、各国選手の気質やお国ぶり豊かな言動もとても興味深かった。練習を見る機会があったが、日本選手とちがって実に楽しそうに見える。先ほどの水泳の話(10月号掲載)ではないが、これはショックだった。

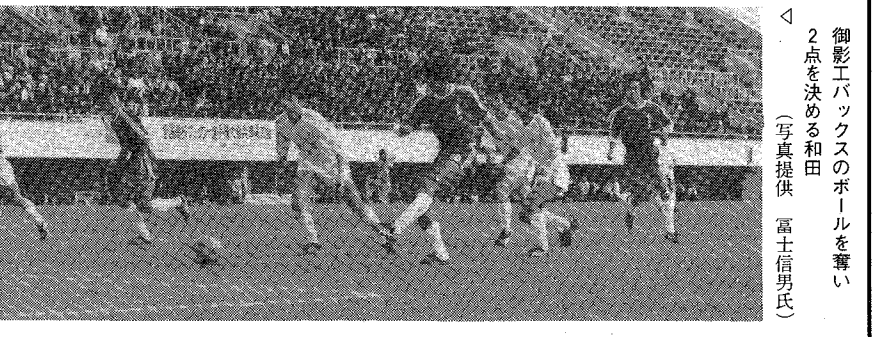
日本人の気質や生活は以前とはかなり変わってきている。それでも、楽しさと真剣さとはまだまだ両立しがたい。スポーツを含めて真面目な世界では、楽しさなど無関係、というよりも罪悪視されている。

ところが、それほど厳しく鍛えに鍛えていくにもかかわらず、いざ試合となると、わが選手たちは、楽しげにプレーする外人選手にいままで太刀打ちしかねている。なぜかとも多分、功の少ないか、ずいぶん引き合ぬ話で、その辺に何か重大な秘密が隠されているような気がしてならないのである。

(次号につづく)



御影工  
無念の敗退  
決勝で



お正月の全国高校選手権へ出場する兵庫県代表チームを決定する県高等学校選手権大会は10月30日より始まり、御影高の夏の高校総体に続く二冠達成でその幕を閉じた。

御影の優勝は森田監督の好指導と部員の地道な努力、主将和田の卓越した技術に負うところが多かった。

# 御影高 夏(総)冬(選)連続制覇!

57年度 高等学校選手権 全国高校選手権県予選

▷決勝(11月13日、神戸中央球場)  
御影高 3 { 2-0 } 2 御影工業高 { 1-0 }

【戦評】岡本隆英(県高体連技術委員長)  
初優勝をめぐり御影と3年連続優勝をめざす御影工との対決である。

リングを鈴木がヘディングで決め3-2となる。残り10分、御影工は必死の攻撃を見せたが、御影は厚い守備でよく耐えて初采冠をものにしました。

御影の勝因は早めの縦パスと忠実なフォローという自分たちのサッカーができたこと、小田が永島をよく押さえたこと、和田がゲームの流れをよく読め、良い判断で点を取りにいったことなどが挙げられる。今後は攻撃に一段と磨きをかけ、DFの1対1の強化を図り、ベスト8入りをめざして全国大会に臨んでほしい。



県中央大会を顧みて  
県協会第2種委員長 佃 幹夫

地区予選から長期にわたったこの大会も、多くの好ゲームを残して幕を閉じた。

全試合を通じて接戦が多く、上位に進出を果たしたチームには御影の和田、御影工の永島、辻そんで準決勝で敗れたが、西宮東の奥井、北須磨の関らの全国クラスの活躍が目立った。チーム力を評価するならば、チームワークのとれたすばらしいチームの多い内やはりリーグ最終戦で5点をとり一気に得失点差の不利益を挽回しBリーグ1位に浮上する底力を見せた御影工と全員の頑張りによって盛り上げた御影の「やる気」のサッカーには格別魅力を感じた。結果的には1次トーナメントから快勝トーナメントまでマイペースで勝ちつづけた御影が、一戦毎にプラスαを身につけながら決勝に臨んだ。が、それに反し初戦より終始苦しい戦いを続けた御影工には「疲労やケガ」といったマイナス面に加えバックス陣の緊張感がむしるふだんの力を出しきれない緊張状態をつくってしまったように思う。決勝はすばらしいゲーム展開の内に1点を争う好ゲームとなったが夏の総体優勝に続く二冠を勝ちとった御影には正月全国大会での活躍を期待したい。全国大会第1戦は、奇しくも森田哲哉監督の出身校山梨代表並崎高校というのも興味深い組み合わせである。

個人を伸ばし、チーム力向上  
監督 森田 哲哉

全国総体以来、チームとしては原則を忠実にできること、接触プレーに強くなること、FW、MFのディフェンスなどを課題として取り組んできた。また、個人としては欠点の矯正もさせることなどが個人の名前を伸ばすことに専念させ特にFWにおいては持ち味の走力を生かす状況をつくるためのパスを受ける前の準備動作の工夫とヘディング練習を徹底して練習の中に取り入れた。部員も練習課題をよく理解して、忠実に取り組んできたので個々の選手が着実に力をつけて全体としてのチーム力向上につながったように思う。

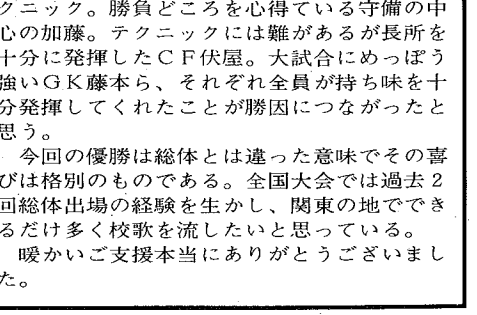
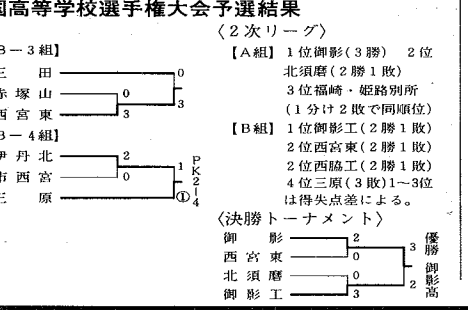
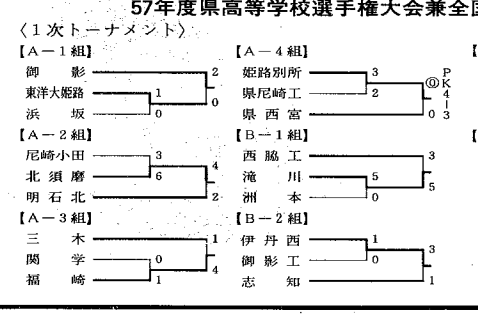
さて、今大会は地区予選を経ずに中央大会に突入ということで多少の不安があった。しかし、第1戦から得点力には物足りない面があったが、内容としては安定した戦いでリーグ戦を順当に乗り切ることができた。

決勝の対御影工業戦は、昨年度来の「決勝で雌雄を決したい!」という願いが実現し、打倒御影工業にチーム全員が燃えた。

勝因はいろいろあるが、国体ナンバーワンのストライカー永島を徹底してマークしたストッパー小田の頑張り第1にあげられる。また、今までの試合経験を生かし、一段とくましさを増して攻守に活躍したMF和田。和田への注意力を分散するMF阿部のハイテクキック。勝負どころを心得ている守備の中心の加藤。テクニクには難があるが長所を十分に発揮したCF伏屋。大試合にめっぽう強いGK藤本ら、それぞれ全員が持ち味を十分発揮してくれたことが勝因につながったと思う。

今回の優勝は総体とは違った意味でその喜びは格別のものである。全国大会では過去2回総体出場の経験を生かし、関東の地でできるだけ多く校歌を流したいと思っている。

暖かいご支援本当にありがとうございました。



### 神戸市社会人運営会議予定 次回 1月20日(木)

2月17日、3月17日、いずれも木曜日、18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

#### 個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。  
〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10  
三木記念神戸市立スポーツ会館内  
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753  
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。

### フットテニス

1980年、全米オープンテニス決勝は、ボルグとマッケンローが互いに秘術をつくして、死闘4時間。ついにマッケンローが勝ってウインブルドンに雪辱を吐いたが、このとき痛恨のハプニングがあった。

ボルグが強打した瞬間、ラケットが折れてとんでしまったのである。球は相手コートに入ったから返球が来たけれど、当然打ち返すことはできない。だがボルグの気持ちはまだ打ち合いを続けている。「俺は打ち返せるんだ。絶対負けじゃないんだ。でもラケットがない」歯がみする思いのボルグは、何とノボルコートにインサイドで、みごとネット越しに相手コートに蹴り込んだのである。

これにはアツと言ったが、ハプニングはまだ続く。それを見たマッケンローは、さすが問題児、負けない。わざわざラケットを地面に置いてボールを蹴り返した。ハイクロスでボールは満員の客席にとびこんだから、場内はドッと湧いた。

歴史に残る珍プレーだったが、それ以外は両者とも滑りこんだり、倒れながら打ち返そうとするなど必死の大奮戦。そんな真剣勝負の中でさえ、ユーモラスなプレーが自然に生まれる。日本人なら絶対しないことである。また、できるはずもない。それどころか、もしやった日には、「フザケルナ!」と非難ごうごうにちがいない。

気質は、どんなものでも、まず外へ充分開かれ発散されねばならない ———— ルドルフ・スタイナー ————  
こういうことは一時話題になっても、その

### 有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449  
阪神御影駅南側西へ30m

### 灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671  
市バス水道筋6丁目上がる100m東側

### 塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870  
バンドウ化学南

### MEN'S SHOP MAC

三宮センター街 ☎078(391)0895  
プレザージュ・トーアロード店 ☎078(391)0896  
ドルチェ・マック・センター街 ☎078(332)0141

### ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186  
阪神深江駅北側信号西

### オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667  
国鉄三宮駅北側神戸理学院専門学校斜め前 (同上ビル1階)

### スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234  
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

### 加茂アロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234  
国鉄元町駅南側東へ100m

### マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811  
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

### ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121  
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578  
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

本紙は右記の店にもあります

第15回 兵庫県少年大会

揖保少年団(小4以下) 神野少年クラブ(小4以下) 高倉台(等)が優勝

57年度県下少年サッカーのナンバー・ワンを決める第15回兵庫県少年大会は11月7日と14日、姫路市新日鉄広畑夢前グラウンドで行われ、男子小6以下の部では西播磨の揖保少年団が、男子小4以下の部では東播磨代表の神野少年クラブが、女子の部では神戸代表の高倉台クラブ女子がそれぞれ優勝した。

同大会は毎年県下の各都市で行われているが、今大会は姫路市協会が主管して行われた。姫路市には市内少年チームの指導者と選手父兄らで作る「少年サッカー育成会」があり、今大会でも大いに世話をいただいた。これは特定のチームの人だけでなく、全チームの人が協力して審判や大会運営に当たっているもので県下ではめずらしい組織。各都市協会とも強いチームを作るだけでなく、このような組織の充実を心掛けることも少年サッカーでは忘れてはならないことである。

▷小6以下の部決勝
揖保少年団 3-2 神戸FCボーイズA
決勝戦は準決勝でPK方式で好チーム高丘西を退けた揖保と順調に勝ち進んだ神戸FCとの戦いになった。両ウイングをうまく使う神戸FCと縦の切り込みで攻める揖保が好ゲームを展開し、前半を戦って2-2の引き分け。延長戦でも両者得点なく終了するかと思われた1分前、神戸FCペナルティエリア付近のフリーキックを揖保が直接決めて3-2で逃げ切り、優勝を果たした。

▷小4以下の部決勝
神野少年 1-1 多井畑スポーツクラブ PK 4-2 少年団
決勝はスピードあふれる神野と技術的多井畑ががっぷり四つに組み、前半は1-1と一進一退の好ゲームを展開した。後半はやや多井畑が優勢に攻めたが得点なく延長戦に入った。しかし、お互いに最後まで譲らず結局PK方式で神野が優勝した。

高倉台クラブ 1-0 木津クラブ
女子の部は大会前から予想されていた通り、神戸同士の決勝戦となり、後半木津バックスとゴールキーパーがボール処理をあやまったところを高倉台が決めて勝った。

▷小6以下の部結果④

Table with 2 columns: Team Name and Score. Includes teams like 揖保少年団, 高丘西, 神戸FC, etc.

Table with 2 columns: Team Name and Score. Includes teams like 神野少年クラブ, 多井畑スポーツクラブ, etc.

Table with 2 columns: Team Name and Score. Includes teams like 高倉台クラブ, 木津クラブ, etc.

第16回 県中学選手権大会

伊丹西 3年ぶり 2度目の優勝

第16回兵庫県中学生選手権大会は10月24日から阪神間の7会場を使用し、32チームが参加して行われた。決勝は11月13日、神戸中央球場で全国高校選手権大会県予選決勝の後行われ、伊丹市立西中学校が東神戸朝鮮中級学校を2-0で下し、3年ぶり2度目の優勝を飾った。

決勝戦は立ち上がり両チームともあがっていったためパスがつかず、ミスの連続であったが、東神戸朝鮮がナム・ジョンを中心にして展開し、しだいにペースをつかんだ。これに対し伊丹西中は長沢を中心としたバックスが激しい当たりと安定したラインで守り、オープンスペースへの速攻を狙った。前半17分、これが効を奏し、左からの低いセンターリングを中央であわせて伊丹西中が先制した。この直後、東神戸朝鮮はPKを得たが、シュートがバーを越え絶好の同点期を逃した。

後半に入り、東神戸朝鮮の一方的な試合となり、再三シュートが伊丹西中ゴールを襲ったが、キーパーの好守にはばまれた。東神戸朝鮮にやや攻め疲れの見える後半20分には逆に伊丹西中が攻め込み、キーパーのこぼしたボールをブッシュで追加点を上げた。

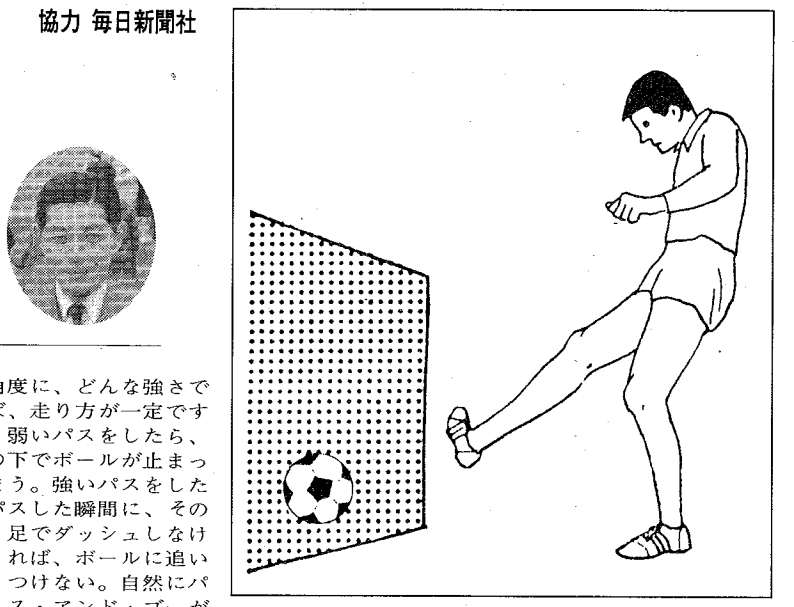
東神戸朝鮮の個人技を生かした攻撃力はすばらしく、神戸市代表としてよく健闘したが、中央突破が多く、横のゆきぶりが少なかったのが今一步のところで伊丹西中の守りを崩すことができなかった。

さて、この大会は5年ぶりに中3の参加が可能となったが、やはり中2と中3の経験の差は大きく、中2以下の新チームの多くは1回戦で姿を消した。このような中で、優勝した伊丹西中や太田中のように上位へ進出したチームの健闘は立派であった。

第16回兵庫県中学生選手権大会結果. Tournament bracket showing teams like 神戸FC, 伊丹西, 東神戸朝鮮, etc.

サッカー 教え方 学び方 (11)

岩谷 俊夫



ペンドルと並んで最高個人練習器といわれるのは、板のボードである。ボードよりちょっと大きい程度の板べいが多い。うしろ側に倒れないよう、つかい棒がしてある。この歴史は日本でも古い。ペンドルとボードがなければ個人練習はできないかという、そうではない。どこの学校にだって、少々ついても倒れないコンクリートのへい、石段くらいはある。われわれはよくそれを利用した。

壁とにらめっこ

姿が目にはらつきよう。第二の連続サイド・キックは、距離は1倍でも2倍でもよい。近ければ近いほどステップはせわしい。強くけりすぎたらステップが合わず、足がもつれようになる。それで十分な練習だ。距離を3倍に近づいたら、正確にへいに当てなければ、足元まで戻ってこないのはおわかりだろう。新調されるころがあったら、高さは1倍くらいでよいから、こんどは長いを作ってみてはどうだろうか。走りながらへいにパスをぶつけ、へいの端から端まで走る。右足(きき足)だけでよいから十分。はね返ってき

どの角度に、どんな強さであれば、走り方が一定ですむか。弱いパスをしたら、へいの下でボールが止まってしまう。強いパスをしたら、パスした瞬間に、その足でダッシュしなければ、ボールに追いつけない。自然にパス・アンド・ゴーが身につき。経験からいけば後者の練習が若い日の思い出に一番残っており、また楽しかった。みんなの大切なボールをいためないことも、気持ちをやすらげた。右ききならインサイドで左へパスし、帰りは右のアウトサイドで右ヘダイレクトパスをして往復とも楽しめる。この練習が十分うまいくためには、へいの真下に土がたまらないよう、つまりへいとグラウンドがきれいに直角になっているように気をつけねば、うまくはね返らない。そんな不備なへいは連続プレーの興味をそぐ。このほか、へいの利用法はスローインの練習にしろ、ゴール・キーパーのロング・キックにしろいろいろある。

この連載は毎日新聞社から発行された「サッカー教え方学び方」(著者岩谷俊夫氏)の内容をお送りしているものです。「少年サッカーの道しるべ」として書きつづった話は、サッカーの原点を的確にとらえており、多くのサッカーファンをひきつけて、はなさない。

第61回全国高校選手権大会組み合わせ(58年1月). Tournament bracket for the 61st All-Japan High School Football Championship.

華麗な舞いで観衆を魅了



ベッケンバウアーに拍手

フランス・ベッケンバウアーが神戸のファンにサヨナラ——。北米リーグ・チャンピオンのNYコスモスに特別参加したベッケンバウアーは11月7日肌寒い小雨の神戸中央球場で日本代表を相手に華麗なプレーを披露し、ファンの前から去っていった。

サヨナラ 皇帝

もちろんベッケンバウアー。正式な引退試合は去る6月1日、西ドイツですませているが、数々の栄光をもたらした黄金のプレーを、この日の90分間にも凝縮してみせてくれた。ベッケンバウアーは、やはりベッケンバウアーだった。それ以外に適切な表現があるだろうか。いくぶん背を丸めて動物的な感覚でゴールに迫るあのペレでもない。そしてまた、オランダが生んだ天才のプレーヤー・クライフとも型は全く異質だ。同じサッカー選手でありながら、こうもプレーの味が違うものか。計算され尽くしたパスで味方の選手を自在にリードする姿は、一度に十数羽の鶴(う)

ボールをボギチエビッチから受けた皇帝が、右足の軽いタッチで浮かした次の瞬間、「左足」で鋭くシュート。鮮やかにゴール右隅に突き刺った。しかし、キナーリヤのオフサイドがあって、無情にも得点は認められなかったが、皇帝は余裕の笑顔さみせた。サッカーの楽しさと奥深さを分かりやすく手ほどきし、そしていつまでも夢と希望を与えてくれたベッケンバウアーの後ろ姿に、神戸のファンは惜しめない拍手を送っていた。フランス・ベッケンバウアーの名前は、近代サッカーの歴史の中で、永遠に輝き続けることだろう。(上野)

Younger SOCCER WEAR, PANTS, STOCKING. Advertisement for soccer gear with logo and text.

markam マーカム・サッカーシューズ. Advertisement for soccer shoes with image and pricing.

NY コスモス 3 (1-0) 1 日本代表 (米国) (2-1). Advertisement for NY Cosmos soccer team.

モルテン Tango. Advertisement for Molten soccer balls with image and text.